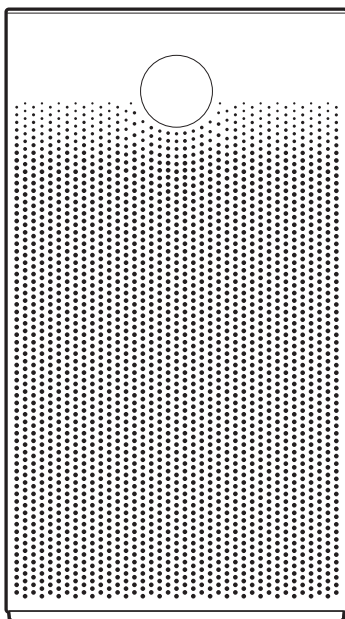

取扱説明書

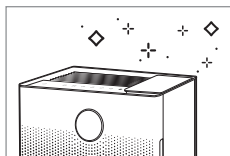
加湿空気清浄機 AIRMEGA 250H
(APMS-1421J)



機能

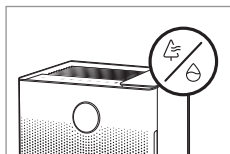
優れた空気清浄

強力な集塵フィルターが室内空气中に舞っている微細ほこりを除去し、最適化されたフィルターシステムにより汚染物質を素早く除去します。



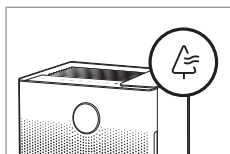
空気清浄／加湿の複合機能

加湿フィルターによる自然加湿システムと、PM2.5や有害ガスを取り除く空気清浄システムを組み合わせた製品です。



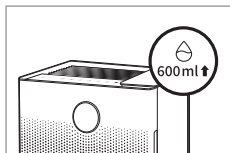
快適な気化式加湿

加湿フィルターと湿度センサーで、室内の湿度に応じて加湿量を調整できます。



優れた加湿清浄機能

加湿システムの加湿量は最大風量で運転時に、1時間あたり600mL以上です。



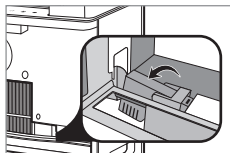
ホコリセンサーによるおまかせ運転

自動モードを選択すると、ホコリセンサーと光センサーがお部屋の状態を検知し、そのときの状態に応じて風量を自動調節して、効率よく運転します。



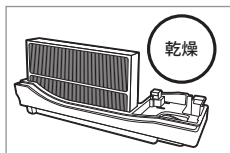
ジアフェクト自動除菌機能

加湿清浄モードで運転中は、90分ごとにトレーの水を電気分解して次亜塩素酸を生成し、トレーのぬめりや雑菌、カビの発生を抑えます。



加湿フィルター自動乾燥

加湿機能を停止すると残った水分で加湿フィルターやトレーが汚れないように、風を送ってスピーディーに乾燥させます。



コーウェイ空気清浄機をご使用いただき、ありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。使い方やお手入れに関するご質問や異常が発生した場合、お問い合わせの前に本書をもう一度ご確認ください。この取扱説明書には、製品保証書が付属していますので大切に保管してください。

目次

ヒント

- | 03 | 安全のご注意
電源について
設置について
使用時
- | 07 | 各部の名前
- | 08 | 空気清浄/加湿
フィルターシステム

使用方法

- | 09 | ご使用前の準備
空気清浄フィルター
加湿フィルター
- | 12 | タッチパネルと
マルチ表示窓
- | 14 | 運転の仕方
- | 16 | ホコリセンサーの感度調整
- | 17 | 給水の仕方

お手入れ

- | 18 | 本体のお手入れ
- | 21 | フィルターのお手入れ

その他

- | 24 | サービスセンターに連絡
する前に
- | 25 | 仕様
- | 26 | 製品保証書

- 取扱説明書はすぐに取り出して読める場所に保管してください。 -

安全のご注意

お客様の安全のための内容です。
必ずお守りください。
お客様の安全と事故防止のため、注意事項をよくお読みになり正しくお使いください。



危険

死亡、または重傷を負うおそれがある内容。



警告

重傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある内容。



注意

軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある内容。

| 電源について

- ▲ 電源プラグや電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは、製品を使わない。
感電・火災の原因
- ▲ 定格電圧(AC100 V)以外では使わない。
感電・火災の原因
- ▲ 電源コードを引っ張って製品を移動しない。
感電・火災の原因
- ▲ 濡れた手で電源プラグを触れない。
感電・火災の原因
- ▲ 電源コードを無理に曲げたり、重い物を上に載せたりしない。
感電・火災の原因
- ▲ 電源プラグを繰り返し抜いたり差したりしない。
感電・火災の原因
- ▲ 電源部分に水が入った場合、電源プラグを抜いて完全に乾燥させてから、使用する。
感電・火災の原因
- ▲ 本製品の修理および点検・部品交換時には、必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く。
感電・火災の原因
- ▲ 電源プラグのピンとの接触部分にホコリや水滴が付着している場合には、きれいにふき取る。
感電・火災の原因

▲ タコ足配線はしない。専用のコンセントを使用する。

感電・火災の原因

▲ 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

感電・火災の原因

▲ 電源コードをご自分で繋げたり、加工したりしない。

感電・火災の原因

▲ 電源コードが破損した場合には、ご自分で交換せずに指定のサービスセンターへ連絡する。

感電・火災の原因

| 設置について

▲ 電源コードは熱源に近づけない。

火災の原因

▲ 暖房器具やテレビなど電気製品の上に置かない。

火災や感電、故障の原因

▲ 湿気やホコリの多いところ、雨水のかかる場所には設置しない。

感電・火災の原因

▲ 可燃性ガス・火のついたタバコ・線香などに近づけない。

感電・火災の原因

▲ 傾いた場所に本製品を設置しない。

傷害および製品の破損につながるおそれ

▲ 本製品に無理な力を加えたり、衝撃を与えない。

製品の破損につながるおそれ

▲ 壁や周りのものから前後左右20cm以上のすき間を空けて使用する。

壁や天井周りの汚れの原因

▲ 空気を効率よく循環させるために、本製品の前後左右に障害となるような物が無い場所に設置する。

安全のご注意

お客様の安全のための内容です。
必ずお守りください。
お客様の安全と事故防止のため、注意事項をよくお読みになり正しくお使いください。



死亡、または重傷を負うおそれがある内容。



重傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある内容。



軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある内容。

| 設置について

- ▲ テレビなどの電気製品から2m以上離れた場所に設置する。
電波障害の原因
- ▲ 焼肉店など、におい、煙、または油が多く発生する可能性のある店舗では使用しない。
性能低下・故障の原因
- ▲ 直射日光の当たる場所に設置しない。
変色や色落ちの原因

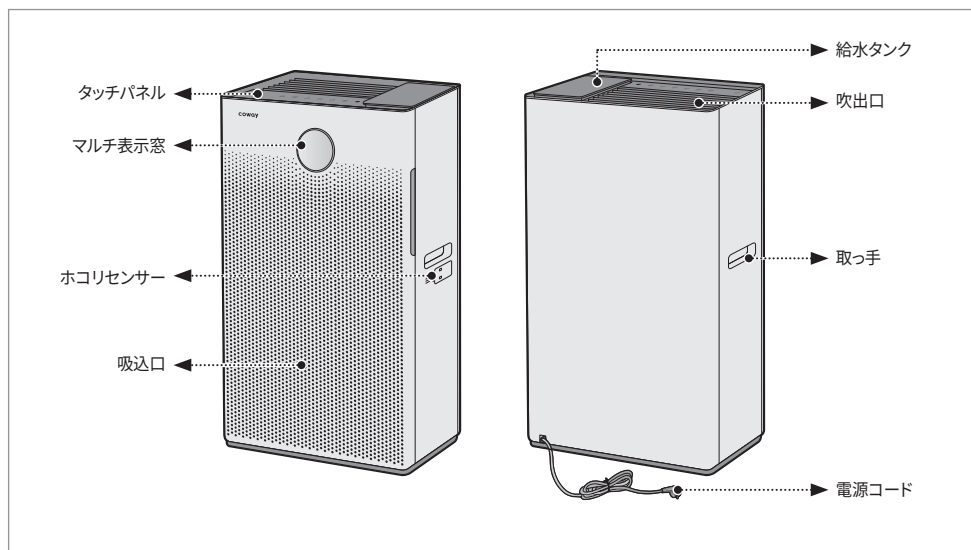
| 使用時

- ▲ ホコリセンサーに錐などの先端がとがったものを差し込まない。
感電の原因
- ▲ 異常な音、におい、または煙が発生したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、指定のサービスセンターへ連絡する。
感電・火災の原因
- ▲ 製品を絶対に水に浸さない。
感電の原因
- ▲ 吸入口に殺虫剤や芳香剤などの可燃性のものをかけない。
火災および性能低下の原因
- ▲ 改造はしない。また、修理技術者以外は分解・修理しない。
感電、破損のおそれ
- ▲ 本製品の上に水を入れた容器、薬品、食べ物、小さな金属類、可燃物などを置かない。
本製品の内部に入った場合、感電や火災、破損のおそれ

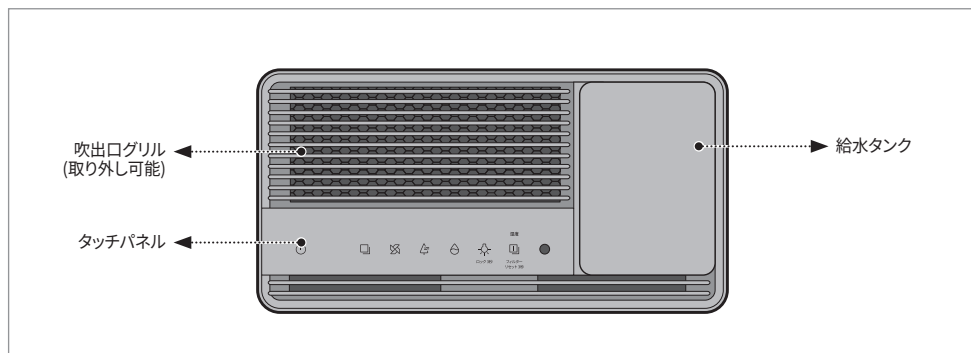
-
- ▲ **お手入れ時は、必ず差込プラグをコンセントから抜く。**
感電・火災の原因
 - ▲ **直接水をかけてお手入れしたり、ベンゼン・シンナーなどで本製品を拭かない。**
感電・火災の原因
 - ▲ **トレーの外側に無理な力を入れない。**
破損・漏れの原因
 - ▲ **空気清浄機を移動させるときは、給水タンクとトレーを完全に空にする。**
漏れの原因
 - ▲ **加湿器用の殺菌剤を使用しない。**
 - ▲ **吸い込み口や吹出口に指や異物（ピン・棒・コインなど）を入れない。**
ケガや故障の原因
 - ▲ **小さいお子さまが、製品にぶら下がったり上に乗ったりしないようにする。**
傷害および故障の原因
 - ▲ **フィルターの交換時期には新しいフィルターと交換する。**
フィルターの使用期限が切れたままで空気清浄機を使用すると、性能低下の原因になります。
 - ▲ **プレフィルターは定期的に洗浄し、風通しのよい日陰で十分に乾燥させた後、使用する。**
最適な性能を維持するために必要です。
 - ▲ **本体を押したり、本体に寄りかかったりしない。製品が転倒するおそれがあります。**
けが・故障の原因
 - ▲ **背面カバー、トレー、給水タンクを正しく取り付けられた状態で使用する。**
安全のために、これらが正しく取り付けられていないと、空気清浄機が正常に作動しない場合があります。
 - ▲ **体の不自由な方、使用経験のない方は一人での製品の使用はしない。**
けが・故障の原因
 - ▲ **お子さまが本製品で遊ばないように注意する。**
けが・故障の原因

各部の名前

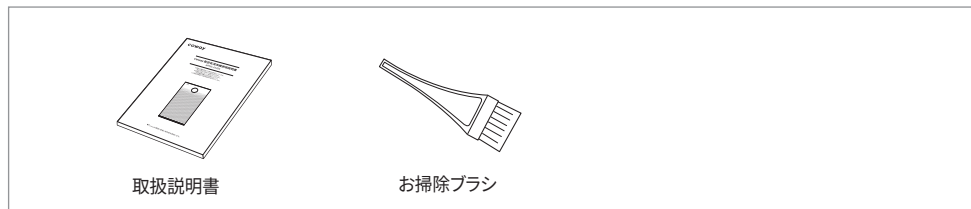
| 前面/背面



| 天面



| アクセサリー



フィルターシステム

プレフィルター

比較的大きなホコリやカビ、髪の毛、ペットの毛などを除去し、集じんフィルター(HEPAフィルター)の性能低下を抑えます。マイクロメッシュを使うことで、フィルターの圧力損失を低減し、集じん効率を向上させました。

MAX2 Greenフィルター(脱臭+抗菌GreenHEPA)

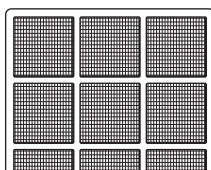
独自のGreen HEPAフィルターと活性炭脱臭フィルターを一体化した「MAX2 Greenフィルター」を装着しています。

- Green HEPAフィルターは、0.3 μ mの微小な粒子を99.97%以上除去*¹し、捕捉した有害物質の活動を抑制する機能を持つコーウェイ独自の抗菌集じんフィルターです。
- 活性炭脱臭フィルターは、ニオイと有害ガスを99%*²除去します。
- 空気清浄機本体でPM2.5に対応*³しています。

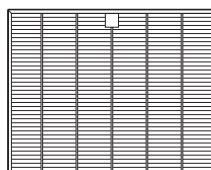
*¹ 粒径0.3 μ mの試験粉塵を1回通過させたときのフィルターの集じん率。フィルターの除去性能であり、部屋全体への除去性能とは異なります。

*² 日本電気工業会規格(JEM1467)に定められた試験方法により当社で算出【試験ガス】アンモニア、アセトアルデヒド、酢酸。実使用空間での実証結果ではありません。すべてのニオイやガスに対応するわけではありません。

*³ 0.1~2.5 μ mの粒子を99%キャッチ。日本電機工業会規格JEM1467による当社試験結果であり、実使用空間での結果ではありません。



プレフィルター



MAX2 Greenフィルター

給水タンク

2.5Lの水を貯めることができます。

トレイ部

加湿フィルターに供給する水の水位と水量を設定値に保ち、ジアフェクト機能で自動除菌します。

加湿フィルター

空気清浄フィルターを通り、乾燥・清浄した空気が通る通路で湿気を伝えるためのフィルターです。広い表面積で、素早く水を吸収し、自然加湿空気を作ります。

ご使用前の準備

| ご使用前に必ずご確認ください！

▲ この製品は100 V~ 50 Hz, 60 Hz専用です。

電源プラグは、100 V~ 50 Hz, 60 Hzのコンセント以外には差し込まないでください。

| フィルターの取り付け方



注意

- 必ずフィルターをポリ袋から取り出してから取り付けてください。
- 屋内でのみお使いください。
- ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- フィルター取り付けの際、フィルターの前面をご確認ください。

▶ フィルター取り付け手順：

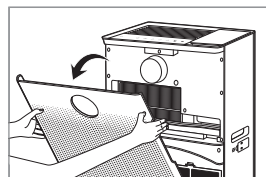
MAX2 Greenフィルター → カスタムフィルター + プレフィルター

* カスタムフィルターは別売品です。

| 空気清浄フィルター

1. フロントカバーを外します。

フロントカバーの上部を持って丁寧に取り外します。

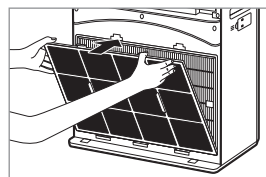
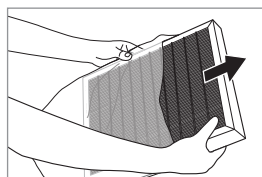


2. フィルターをポリ袋から取り出します。

MAX2 Greenフィルターをポリ袋から取り出し、製品に取り付けてください。

* フィルター取り付け手順： MAX2 Greenフィルター → カスタムフィルター+プレフィルター

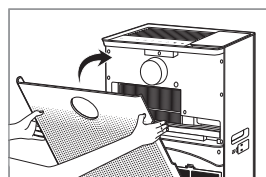
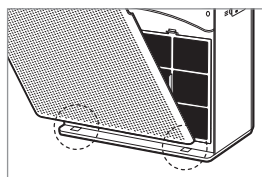
* カスタムフィルターは別売品です。



3. フロントカバーを取り付けます。

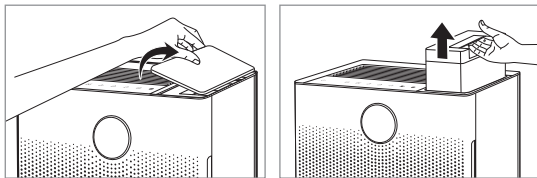
フロントカバーを本体の両側にある2つのくぼみに合わせ、押すように取り付けてください。

* フロントカバーが正しく取り付けられていないと、製品は作動しません。

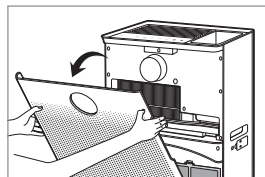


加湿フィルター

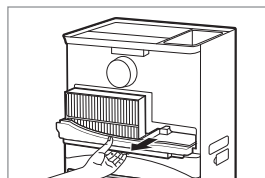
1. 給水タンクのカバーを持ち上げ、タンクの把手を握って取り外します。



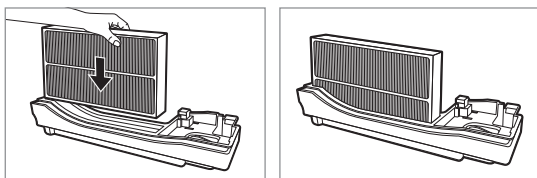
2. フロントカバーを取り外します。



3. トレーを画像のように手前に引いて取り外します。

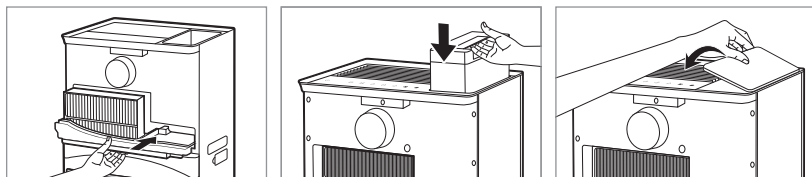


4. 加湿フィルターをポリ袋から取り出し、トレーに取り付けます。

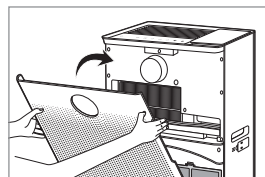


ご使用前の準備

5. 給水タンクとトレーを正しく取り付けます。



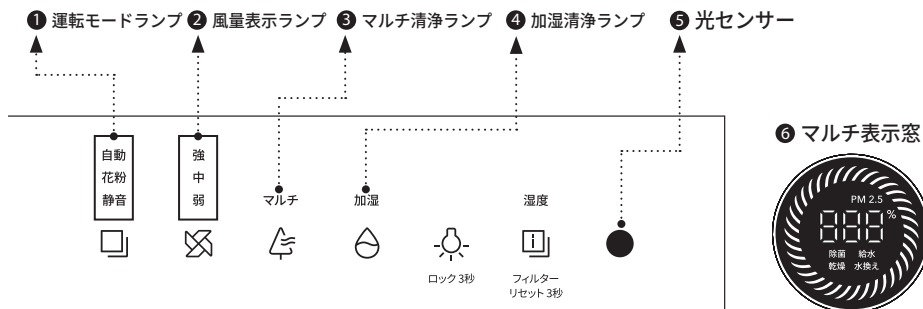
6. フロントカバーを取り付けます。



- 加湿フィルターにスケールが発生すると、十分な加湿量が得られないことがあります。少なくとも週に1回は掃除してください。
- 給水タンクとトレーが正しく取り付けられていないと、空気清浄機が作動しないことがあります。

タッチパネルとマルチ表示窓

| タッチパネルとマルチ表示窓



自動
花粉
静音

① 運転モードランプ

モードボタンを押すたびに、空気清浄機は「自動→静音→花粉」の順に切り替わり、最後に選択したモードのランプが点灯します。

強
中
弱

② 風量表示ランプ

このランプは、風量レベル弱/中/強の順で点灯します。

マルチ

③ マルチ清浄ランプ

このランプはマルチ清浄が作動するときに点灯します。

加湿

④ 加湿清浄ランプ

このランプは加湿ランプが作動するときに点灯します。

●

⑤ 光センサー

このセンサーは、夜間に周囲の明るさを感知して、静音モードに切り替えます。

* この機能が有効なのは自動モードのときだけで、手動モードでは、静音モードに切り替えません。



⑥ マルチ表示窓

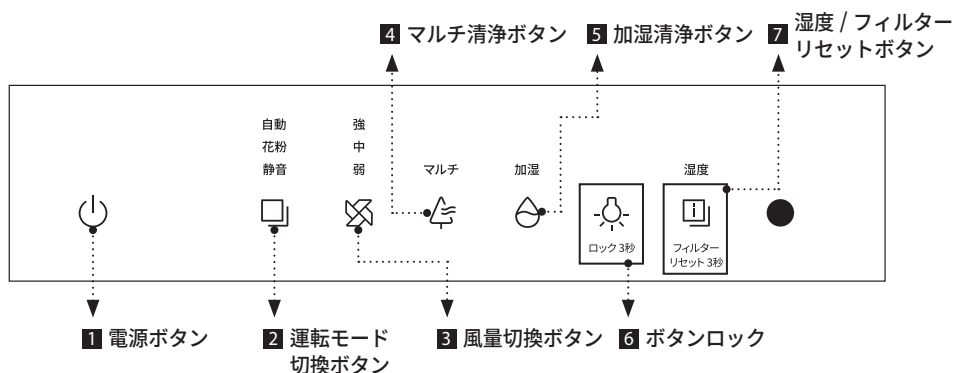
湿度ボタンを押すと、空気清浄機が設置されている場所の周囲湿度が表示されます。表示窓に湿度の数値が3秒間表示された後、PM2.5の数値が表示されます。湿度は5%ごとに表示されます。湿度ボタンを再度押した場合は、PM2.5の数値が表示されます。

- 除菌：ジアフェクト自動除菌機能が作動している間、点灯します。
- 乾燥：加湿フィルター乾燥機能が作動している間、点灯します。
- 給水/水換え：給水か水換えが必要な場合、点灯します。
- ボタンがロックされているときは、表示窓に-L-と表示されます。
- ボタンのロックが解除されているときは、表示窓に-UL-と表示されます。

* 湿度は10%以内の範囲で誤差が発生する可能性があります。

ボタンとタッチパネル

| ボタン



1 電源ボタン

運転を開始/停止します。

* 最初に製品を運転する時には、自動モードで運転し、運転中製品を再起動すると、製品の運転停止前の運転モードで運転されます。



2 運転モード切換ボタン

モードボタン押すたびに、自動 → 静音 → 花粉の順に運転モードが切り換わります。



3 風量切換ボタン

風量切換ボタン押すたびに、弱 → 中 → 強の順に風量が切り換わります。
(自動/花粉/静音モード中に風量切換ボタンを押すと、手動モードに切り替わります。)



4 マルチ清浄ボタン

マルチ清浄モードに切り換わります。



5 加湿清浄ボタン

加湿清浄ボタンを押すと加湿清浄モードが作動します。



6 ボタンロック

ボタンロックを3秒間押すとボタンがロックされます。



7 湿度 / フィルターリセットボタン

短く押すと現在の湿度が表示され、3秒間押すとフィルターリセットに切り換わります。

運転の仕方

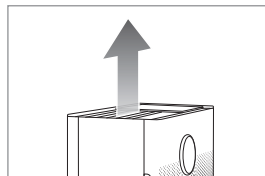


注意

- 運転を開始する前に、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 最初に製品を運転すると、自動モードで動作します。

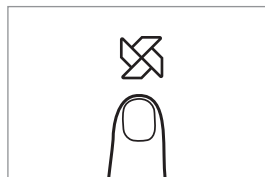
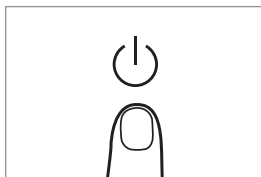
一般清浄

一般清浄モードで、空間を十分に清浄できます。
通常の循環モードでは、空気清浄機の上部（後方）の吹出口から風が吹き出されます。手動運転か、必要なモードが選択できます。



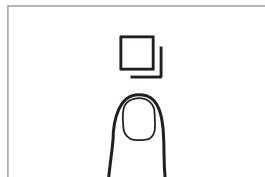
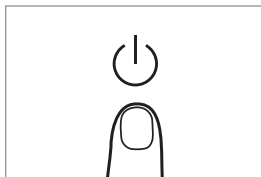
手動で操作するには

電源ボタンを押して空気清浄機をオンにし、風量切換ボタンを押して必要な風量モードを選択します。(弱 → 中 → 強)



モードを選択するには

電源ボタンを押して空気清浄機をオンにし、運転モード切換ボタンを押して必要なモードを選択します。(自動 → 静音 → 花粉)



- 自動モード

センサーが感知した室内の汚染レベルに応じて、風量が自動的に調整されて(弱 → 中 → 強)、効率的に運転されます。

	汚染レベル1	汚染レベル2,3	汚染レベル4
風量	弱	中	強

- おやすみモード

自動モード運転中にお部屋の暗い状態が続くと、おやすみモードに入り低風量/低騒音/省エネ運転をします。

* おやすみモードではマルチ表示窓が消灯します。

- 花粉モード

花粉モードでは、大きめのホコリをよりすばやく除去するためにセンサー感度を変えて運転します。花粉モード運転中も、空気の状態の合わせた風量自動調整は続けられ、20分後には自動モードに切り換わるため、無駄な電力は使いません。帰宅後や換気後に使用すると、効果的です。

* 花粉モード中に風量切換ボタンを押すと、花粉モードは解除されます。

運転の仕方

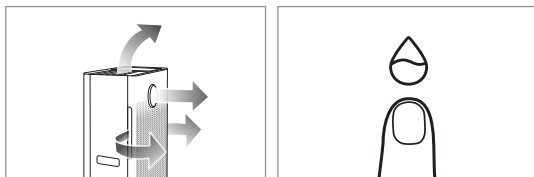
| 加湿清浄モード

ユーザー浄機の使用空間を重点的に清浄する機能。

加湿清浄モードでは、空気清浄機の上部（前面）、正面、側面から風が吹き出されます。

空気清浄中に給水タンクに水を入れ、空気清浄機に取り付けると、加湿清浄モードに切り換わります。

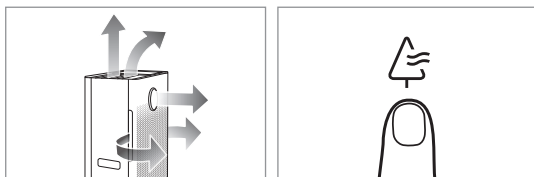
* 加湿フィルターやトレーの掃除後には加湿清浄ボタンを押して、製品を起動させてください。



| マルチ清浄モード

空気清浄機の使用空間を隅々まで清浄する機能。

マルチ清浄モードでは、空気清浄機の上部、正面、側面から風が吹き出され、快適な気流を作るために風量が低く維持されます。



| 加湿フィルター乾燥

給水タンクとトレーに水が残っている状態で、空気清浄機の電源を切るか、モードを切り替えると、フィルター乾燥のランプが点灯し、加湿フィルター乾燥機能が作動します。

- * 加湿機能を使用していないときに給水タンクが空になっていないと、給水タンクを空にするように6時間後、水換えのアラームをします。（通知は6時間ごとに最大8回まで繰り返されます）
- * 加湿フィルター乾燥機能は使っていないトレーの水を乾燥させるため、運転時間は周囲の環境によって異なります。
- * 乾燥中に空気清浄機の正面から風が吹き出されることがあります。
- * 乾燥モード中にマルチ清浄モードボタンを押すと機能が切り替わり、マルチ清浄モードをもう一度押すと一般清浄モードになります。

| ジアフェクト自動除菌

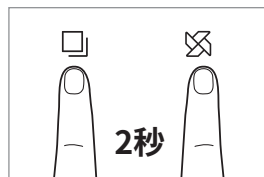
加湿清浄モードで運転中は、タンクの水がトレーに自動供給され、90分ごとにトレーの水を電気分解して次亜塩素酸を生成します。トレーのぬめりや雑菌、カビの発生を抑えます。ジアフェクト自動除菌機能の作動中にはマルチ表示窓に「除菌」のランプが点灯します。

ホコリセンサー感度調整

ホコリセンサーの感度を調整するには

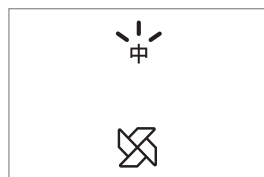
初めて空気清浄機をオンにしたとき、ホコリセンサーは標準に設定されています。汚染度の高い場所で空気清浄機を2時間以上運転してもマルチ表示窓の汚染度が高汚染状態のままになっている場合や、汚染度が高いのにマルチ表示窓の汚染度が清浄状態のままになっている場合は、次の手順で感度を調整できます。

1. 空気清浄機の作動中に、風量切換ボタンと運転モード切換ボタン同時に2秒以上長く押します。



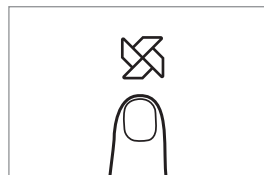
2. 現在設定されている感度が天面のタッチパネルに表示されます。

* 初期設定の感度は「中」です。



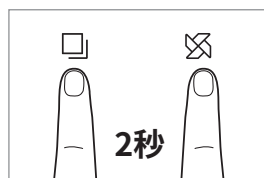
3. 風量切換ボタンを押して、希望のセンサー感度に調節します。
センサーの感度が設定されると操作部に風量表示が点灯されます。

表示	L0/弱	L1/中	L2/強
敏感度	敏感	普通	鈍感



4. 再度風量切換ボタンと運転モード切換ボタンを再び同時に2秒以上押すと、選択した感度が設定され、通常運転に戻ります。

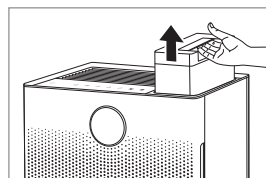
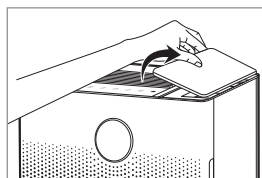
* 感度を選択してから10秒以内に風量切換ボタンを押さなければ、選択した感度が自動的に入力されます。



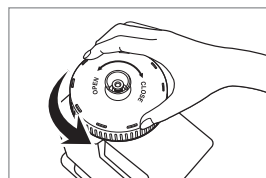
給水の仕方

タンクに給水するには

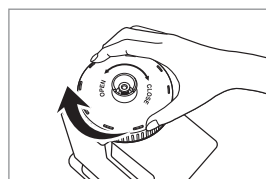
1. タンクのカバーを持ち上げ、タンクの把手を握って取り外します。



2. 給水タンクのキャップを反時計回りに回して取り外します。



3. 水を入れて、給水タンクのキャップは「だだっ」と音がするまでキャップを完全に締めないと水漏の原因になります。

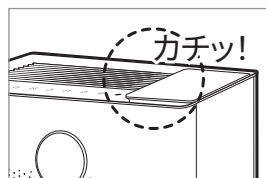
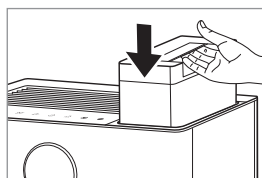


注意

- キャップを無理に押し付けて締め付けると、キャップが破損したり、完全に締められず、水漏の原因になります。
- キャップを締めるときは、側面を持って回して締めてください。

給水タンクを取り付けるときの注意点

空気清浄機に給水タンクを取り付ける際は、カチッと音がするまで奥まで押し込んでください。給水タンクが完全に取り付けられていないと、水漏れや作動不良の原因となります。給水タンクとトレーが正しく取り付けられていないと、マルチ表示窓に給水のランプが点灯します。給水タンクとトレーを奥まで押し込んで正しく取り付けると、給水のランプが消えて、空気清浄機が正常に作動します。



注意

- 給水タンクにはMAXの表記部まで水を補充するのが理想的です。
- 給水タンク内の水は静音風量で約12時間、「強」風量で約4時間持ちますが、加湿機能を使用するときは、事前に水の残量を確認してください。
- 給水タンクを取り付けるときは、指を挟まないように内側の把手を握って取り付けてください。

本体のお手入れ



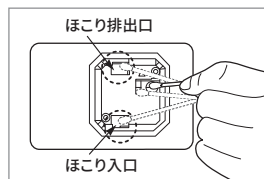
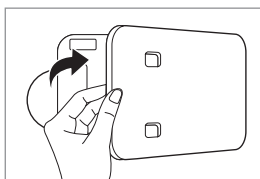
注意

- お手入れの前に、必ず電源プラグを抜いてください。
- 有機溶剤（ソルベント、シンナーなど）、漂白剤、塩素や研磨剤を含む洗剤は使用しないでください。
- 本体を水につけたり、水をかけたりしないでください。

| ホコリセンサーのお手入れ（お手入れの目安：約2ヶ月に1回）

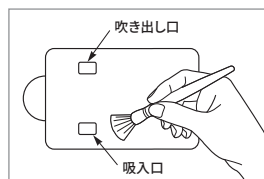
1. ホコリセンサーのカバーを開けます。
綿棒を少量の水で湿らせ、レンズ（2カ所）、ほこり吸入口と排出口を拭き、その後乾いた綿棒でふき取って、水分を完全に乾燥させてください。

- * 定期的なお手入れを行わないとホコリ検知機能が清浄に動作しない恐れがあります。
- * ホコリの多い環境では、お手入れの頻度を増やしてください。



2. ホコリセンサーの吸気口と排気口を、柔らかいブラシや掃除機で掃除します。

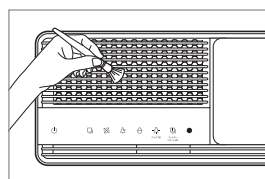
- * お手入れの際、ホコリが製品の内側に落ちないように注意してください。



| 吸入口と吹出口のお手入れ（お手入れの目安：約2ヶ月に1回）

吸入口と吹出口を柔らかいブラシなどでお手入れしてください。

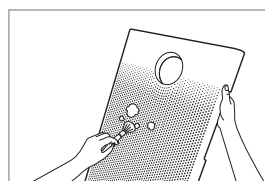
- * お手入れの際、ホコリが製品の内側に落ちないように注意してください。



| フロントカバーのお手入れ

本体からフロントカバーを外した後、乾いた柔らかい布やブラシなどで表面についているホコリをふき取ってください。

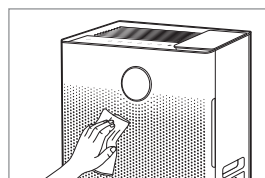
- * 汚れがひどい場合には、水を少し含ませた布で拭いてください（研磨剤使用禁止）。



| 本体のお手入れ（お手入れの目安：約2~4週間に1回）

乾いた柔らかい布で拭いてください。

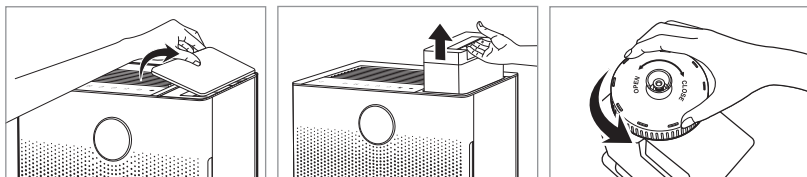
- * 汚れがひどい場合には、水を少し含ませた布で拭いてください（研磨剤使用禁止）。



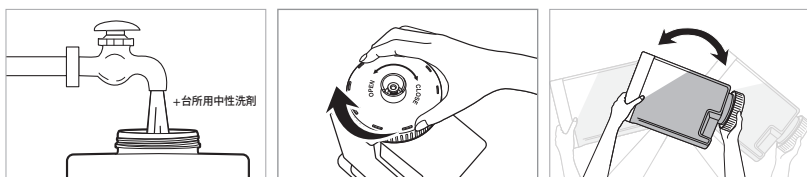
本体のお手入れ

給水タンクの掃除(毎日)

1. 天面から給水タンクカバーを取り外し、給水タンクの把手を握って持ち上げます。タンクのキャップを反時計回りに回して開けます。タンクに水が残っている場合は、お手入れの前に捨ててください。



2. 給水タンクの1/3程度まで水を入れ、少量の台所用中性洗剤を入れます。タンクのキャップを時計回りに回してきちんと閉めます。両手で水タンクを持ち、左右に振り洗います。

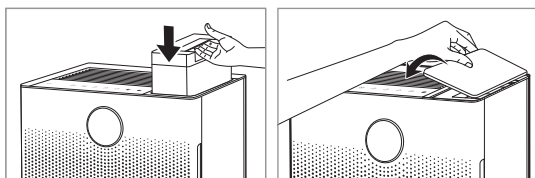


3. 給水タンクのキャップを反時計回りに回して開け、洗剤の混ざっている水を捨てて、流水でお手入れをします。

- * 給水タンクに外部の衝撃を与えないでください。製品破損と漏れの原因になります。
- * 給水タンクのキャップは「だだだ」と音がするまでキャップを完全に締めないと水漏や作動不良の原因になります。
- * 中性洗剤を使用した後は、洗剤成分が残らないようによくすすいでください。洗剤成分が残っていると、性能低下の原因になります。
- * 加湿器用の除菌・洗浄剤を使わないでください。



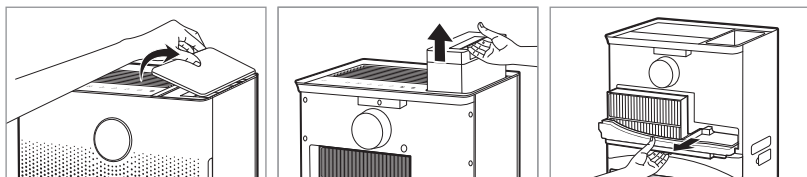
4. 日陰で完全に乾かせてから、製品に取り付けます。



トレーのお手入れ(お手入れ目安: 週1回)

1. 製品から給水タンクを取り出し、フロントカバーを開けて、トレーを手前に引き出します。

* イメージのようにトレーを手前に引き出すときに、把手の穴に溜まっている水に手が触れる恐れがありますので、ご注意ください。



2. トレーから加湿フィルターを丁寧に取り出します。

* 加湿フィルターを取り外すと、加湿フィルターが吸収した水が流れ出ることがありますので、ご注意ください。

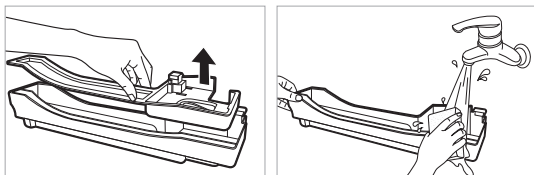
加湿フィルターをめるま湯(40°C以下)に20分以上浸した後、お掃除ブラシを使って流水でやさしく洗います。

* 使用環境により、水道水などが乾燥され、加湿フィルターに白いミネラルカスが残ることがあります。流水で掃除して乾燥させてください。[2017年版 飲料水の水質基準の解説(国立環境研究所)参照]。

* 使用環境により、ミネラルカスが貯まる期間と傾向が異なります。



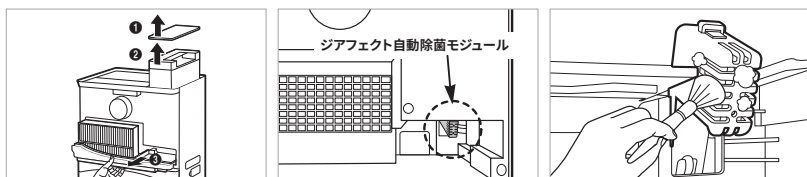
3. トレーから加湿フィルターとトレーカバーを順番に取り外し、柔らかい布やお掃除ブラシに台所用中性洗剤を湿らせて、流水でトレーを拭きます。乾いた布でトレーの水分を拭き、日陰で乾燥させます。



「ジアフェクト自動除菌モジュール」のお手入れ

1. 空気清浄機を長期間使用すると、ジアフェクト自動除菌モジュールに水垢やスケールが溜まる場合があります。ジアフェクト自動除菌機能が正常に動作するように、月1回はお掃除ブラシや掃除用具で拭いてください。

* 水垢がひどく、お手入れがうまくできない場合は、トレーに水を入れてクエン酸を約20g入れます。10分ほど待ってから、掃除用具でトレーを拭いてください。



フィルターの交換



注意

- フィルターのお手入れ前には必ず電源コードを抜いてください。
- プレフィルターは、ホコリを掃除機でを吸い込んだり水で洗い流すことで繰り返し使っていただけます。
- プレフィルターを長期間掃除しないと、製品の性能劣化の原因になります。
- カスタムフィルター、MAX2 Greenフィルターは、再利用できません。。絶対に水洗いしないでください。

| 交換方法

- フィルターを取り付ける際、「前面」を必ず確認してください。
- フィルターは必ず純正のものを使用してください。純正でないフィルターを使用する場合、メーカーや販売店は性能を保証できません。
- フィルターの交換前には必ず電源プラグを抜いてください。

| フィルターのお手入れ/交換の目安

フィルター	お手入れ/交換の目安	お手入れ/交換
プレフィルター	「PRE」ランプ点灯時*	お手入れ
カスタムフィルター	約4ヶ月に1回	交換
MAX2 Greenフィルター	「HPA」ランプ点灯時**	交換
加湿フィルター	約2～4カ月に1回	交換

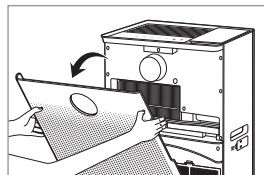
* 最大風量で毎日8時間運転した場合、約2週間使用後に点灯します。

** 最大風量で毎日8時間運転した場合、約1年使用後に点灯します。
フィルターお手入れ/交換の目安は推奨周期を記載したものであり、使用環境や使い方によって異なる場合があります。

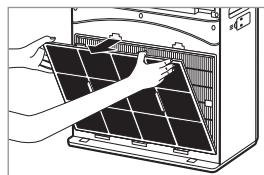
プレフィルタ(お手入れの目安: 約2~4週間に1回)

前面のマルチ表示窓に「PRE」が表示されるとお掃除時です。

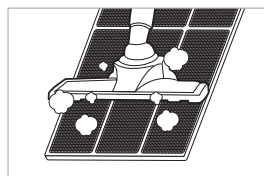
1. フロントカバーの両側を手前に引いて取り外してください。



2. プレフィルターのハンドルを引きながら取り出します。

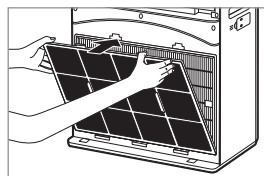


3. プレフィルターに付着したホコリを掃除機で吸い取ってください。
掃除機でホコリが充分に取れない場合は、
水でそっと流してください。

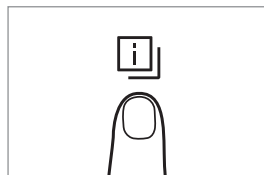


4. プレフィルターの水気を完全に乾燥させてから、製品に取り付けてください。フロントカバーを再度製品に取り付けてください。

- * プレフィルターを製品に取り付ける時、フックに正確にはめ込んでください。
- * プレフィルターを洗い流したり、中性洗剤を溶かした水(約30℃)に入れて洗ってから、風通しのよい日陰で十分に乾燥させてください。直射光線またはドライヤー、ヒーター、熱が出る器具などの近くで乾燥させる場合、プレフィルターが変形し製品の性能に影響を与えることがあります。



5. お手入れ及びフィルターを交換した後、「フィルターリセット3秒」のボタンを押して、リセットしてください。

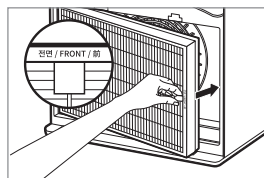


フィルターの交換

MAX2 Greenフィルターの交換(交換の目安:約1年に1回)

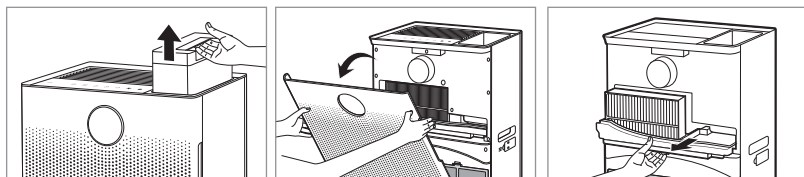
フロントカバーとプレフィルターを本体から取り外した後、
使用済みのMAX2 Greenフィルターを取り出してください。

* ポリ袋をはがしてからご使用ください。



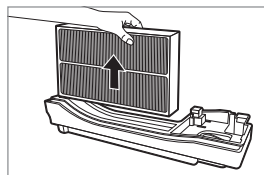
加湿フィルターの交換方法

1. 空気清浄機から給水タンクを取り外し、フロントカバーを開けてトレーを手前に引いて取り外します。



2. 水が飛び散らないように注意して加湿フィルターを取り外し、
交換します。

* ポリ袋をはがしてからご使用ください。



サービスセンターに連絡する前に

空気清浄機は製品の不具合以外にも誤った操作方法や取扱いにより正しく動作しないことがあります。お問い合わせの前に、まずは次の内容をご確認ください。以下を確認しても問題が解決しない場合は、サービスセンターにご連絡ください。

問題	チェック	考えられる解決方法
吹出口から空気が出ない。	• 電源プラグが差し込まれていますか？	定格電圧(100V～50/60Hz)のコンセントに差し込んでください。
	• すべての表示ランプが消灯状態ではありませんか？	運転入/切ボタンを押して電源をオンにした後、必要な機能を選択してください。
	• 停電ではありませんか？	電源が回復するまで待ってから、製品をご使用ください。
	• 給水タンクは正しい位置に取り付けられていますか？	給水タンクが奥まで正しく取り付けられているかご確認ください。
空気質が変わっても風量が自動切換にならない。	• 空気清浄機を手動で運転していませんか？	手動モード以外は、風量切換はできません(正常)。
	• 静音ランプが点灯していませんか？	手動モード以外は、風量切換はできません(正常)。
風量が大幅に弱くなった。	• フィルターのお手入れや交換時期が過ぎていませんか？	フィルターのお手入れや交換の目安をご確認のうえ、フィルターのお手入れや交換をしてください。
吹出口から悪臭がする。	• フィルターのお手入れや交換時期が過ぎていませんか？	フィルターのお手入れと交換周期を確認し、必要に応じてフィルターをお手入れまたは交換します。
マルチ表示窓の色が変わらない	• ホコリセンサーレンズ部にホコリがついていませんか？	ホコリセンサーレンズ部をきれいにしてください。
	• 空気質が「悪い」(ランプ色:赤)のままずっと変わりませんか？	ホコリセンサーの感度を「L2(鈍感)」または「L1(標準)」に調整してください。
	• 空気質が「良い」(ランプ色:青)のままずっと変わりませんか？	ホコリセンサーの感度を「L0(敏感)」または「L1(標準)」に調整してください。
マルチ表示窓が点滅する	• サービスセンターにお問い合わせください。	
その他のトラブル	• 問題の現象をご確認の上、必ず電源プラグを抜き、サービスセンターにお問い合わせください。	
給水のランプが点灯する	• 給水タンクは正しく取り付けられていますか？	給水タンクが奥まで正しく取り付けられているかご確認ください。

仕様

品番		APMS-1421J	
運転モード		空気清浄運転時	加湿空気清浄運転時
清浄時間		8畳(13 m ²)を10分	8畳(13 m ²)を15分
適用床面積の目安	空気清浄*1	~47 m ² (約28畳)	~32 m ² (約19畳)
	加湿(気化式)*2	-	プレハブ洋室 ~27 m ² (17畳) 木造和室 ~17 m ² (10畳)
最大風量		6.3 m ³ /分	4.5 m ³ /分
運転音(最大風量時)		50 dB	49 dB
消費電力(最大風量時)		58 W	36 W
最大加湿量 給水タンク容量		-	600 ml/h*4 2.5 L
空気清浄フィルター		プレフィルター カスタムフィルター(黄砂/新築/ダブル脱臭)*3 MAX2 Greenフィルター(活性炭脱臭/抗菌GreenHEPA一体型)	
インジケーター(マルチ表示窓)		フィルターお手入れお知らせ (プレフィルター:お手入れ、MAX2 Greenフィルター:交換)、 PM2.5濃度デジタル表示(目安)、空気質4段階表示(LEDリング)、 湿度デジタル表示(2桁)	
気流切り変え		一般清浄/マルチ清浄	
スマート運転		おまかせ/おやすみ(自動/手動)/花粉	
その他機能		チャイルドロック、LEDランプオン/オフ クリーン加湿システム(Water-Lock、加湿フィルター自動乾燥、 ジアシールド自動除菌、水替えお知らせ)	
本体寸法		幅400×高さ720×奥行225(mm)	
本体質量		12 kg	

*1 (一社)日本電機工業会規格(JEM1467)に基づいて算出。

*2 (一社)日本電機工業会規格(JEM1426)に基づいて算出。

*3 カスタムフィルター(黄砂/新築/ダブル脱臭)は別売品です。カスタムフィルターを取り付けなくても製品の動作、基本性能に影響はありません。

*4 日本電機工業会規格(JEM1426)に基づき室温20℃、湿度30%で算出。

▶ 製品設計と仕様は法律に応じて規制されており、予告なく本製品または品質を改善することがあります。

▶ 適用床面積風量「強」で運転した時の性能データです。

▶ 消費電力は、加湿清浄モードで運転した場合の値です。

▶ 加湿清浄時とは、加湿清浄モードの運転時を意味します。

▶ 適用床面積は、日本電機工業会規格(JEM1467)で定められた試験方法により算出しており、自然換気回数1(1回/時間)の条件において、粉じん濃度1.25mg/m³の空気の汚れを30分でビル衛生管理法に定める0.15mg/m³まで清浄できる部屋の大きさ(高さは2.4メートル)を定めたものです。

製品保証書

製品名	COWAY加湿空気清浄機 APMS-1421J	保証期間
SER. NO		1年
購入日	年 月 日	
保証期間	年 月 日	
住所		
名前		Tel

1. 正常な使用中、製品の製造上の欠陥により故障した場合、保証期間内に限り無償でアフターサービスを行います。
2. 故障した場合は当社にご連絡ください。
3. 次の場合は保証期間中でも有料になります。
 - 使用上の不注意や不当な修理及び改造による故障
 - 取扱説明書に明示された事項の不履行による故障
4. 保証期間経過後の修理：当社のアフターサービスセンターが法定年数の間、部品を保有しておりますので有料修理が可能です。
5. 修理が必要な時は、必ずこの保証書を提示してください。
6. 本保証書は日本国内に限って適用されます。(This warranty is valid only in Japan)
7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

製品の保証に関して

1. 必ず購入日、保証期間などの記入をお確かめの上、保証内容などをよくお読みいただき、大切に保管してください。
2. 保証期間であっても有料サービスになることもございます。下記のような場合はサービス料（修理代+部品代+出張費）をいただいてから修理いたします。

有料サービス

- 使用者の取り扱いの不注意
- 当社のアフターサービス員でない者が修理し、故障した場合
- 天災(火災、地震、水害など)により、故障した場合
- 使用者が勝手に内部を改造し、故障した場合
- 設置後、使用中の落下(使用者の過失)などにより、故障した場合

<お客様お問い合わせ窓口>

0800-999-0213

コーウェイ・ジャパン株式会社

100-0011 東京都千代田区内幸町2-1-6 日比谷パークフロント17階

001

9239517

coway

www.coway.jp